

「これまでのわたし・これからのわたし」

～ 自分のものがたりを作ろう ～

教科書出版社名（ 啓林館 ）

○ 小学校（ 2 ）年 教科等（ 生活 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったことや、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどを認識する力。
- ・これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活する力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・成長の振り返りについては、単元の導入段階で図書館の本を活用して、動物と人間の赤ちゃんを比べるという学習活動を取り入れる。
- ・動物の赤ちゃんと人間の赤ちゃんを比べることで、今の自分は、様々な人の支えのもとにあることに気づき、自分の成長を調べる活動でどんなことを聞き取りたいのかを考えるきっかけにする。

○ 学習の展開（全15時間）

| | |
|----------------------------|--|
| 第1次 出会う | <ul style="list-style-type: none"> ・じぶんのとくいなこと（友だちのよいところ）を見つけよう 「できるようになったこと」について、発表会をする。 友だちのよいところを発表する。 |
| 第2次 結びつける 気づく 見通す | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たんけんをしよう 赤ちゃんがいるお母さんの話を聞こう。 どうぶつの赤ちゃんと人間の赤ちゃんをくらべよう。（図書館） インタビューの準備をする。 |
| 第3次 工夫する | <ul style="list-style-type: none"> ・自分ものがたりを作ろう 「自分の成長」えほんを作る。 |
| 第4次 ひろげる | <ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」をつたえよう 保護者や自分たちに関わっているさまざまな人に感謝の気持ちを伝える。 ・明日にむかってすすもう 自らの成長をふりかえり、その成長を自覚するとともに展望をもつ。 ・大人になったら 将来についての夢をもつ。 |

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

| | |
|---------------|---|
| ① 成果 | ・動物の赤ちゃんと人間の赤ちゃんを比較しながら読むことで、その違いを考えることができた。その活動を通して、人間はさまざまな人に支えられながら成長することに気づくことができた。 ・さまざまな赤ちゃんの成長を知ること、自分の成長に興味や関心を持ち、聞き取り学習や、「自分ものがたり」作りに発展させることができた。 |
| ② 課題 | ・動物の赤ちゃんの本を読み、文章の内容から必要な情報を選び出すことに時間がかかった。 |
| ③ 児童の感想・ふりかえり | ・キリンの赤ちゃんはお母さんが立ったまうむ。そして、赤ちゃんなのに生まれたときは、人間と同じ大きさ。10分もすれば立つ。 ・動物は、赤ちゃんがおなかにいるのが短くて、生まれるのが人間とちがってはやくたつ。お母さんとわかるのも早かった。 ・人間のお母さんはびょういんで産むけど、ライオンは一人で産む。ライオンの赤ちゃんがおなかの中で過ごすのは3週間ぐらい。 |

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

| |
|---|
| ・学習内容との関連及び児童の実態に合う観点（読みやすいこと、興味がある動物の本にすること）から、本を選出するようにした。比べる動物が同じ児童でグループになることができるように、動物の本を他校や市立図書館から多数収集し、児童の読解が可能となるように内容を確認し厳選した。 ・読解に時間がかかる児童は、読み聞かせをしたり、必要な内容のところに付箋をはったりして、個別の支援をした。 |
|---|

月 日

2年 組

めあて どうぶつの赤ちゃんと 人間の赤ちゃんをくらべよう。

(わかったこと・考えたこと)

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |